

人権教育において取り組む人権課題

児童生徒の発達段階に応じ、人権の意義・内容等について理解させるとともに、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」ができるようにし、それが、様々な場面等で具体的な態度や行動に現れるようにする。

[参考]

1 個別の人権課題

No.	課題	No.	課題
1	女性（男女共同参画、DVなど）	8	H I V感染者・ハンセン病患者等
2	子ども（いじめ、児童虐待など）	9	刑を終えて出所した人
3	高齢者	10	犯罪被害者等
4	障害者	11	インターネットによる人権侵害
5	同和問題	12	北朝鮮当局による拉致問題等
6	アイヌの人々	13	その他（性同一性障害者の人権、人身取引、ホームレス等）
7	外国人		

※ 「人権教育の指導方法等の在り方について[第三次とりまとめ]」（平成20年3月文部科学省）からの引用

2 学校で重点的に取り組んだ個別の人権課題 [平成29年度調査:小・中・高]

校種	人権課題（上位5課題）				
	障害者	子ども	インターネットによる人権侵害	高齢者	外国人
小学校 (753校)	751校 [97.4%]	733校 [95.1%]	721校 [93.5%]	698校 [90.5%]	644校 [83.5%]
中学校 (345校)	子ども 333校 [96.5%]	インターネットによる人権侵害 330校 [95.7%]	障害者 324校 [93.9%]	高齢者 289校 [83.8%]	同和問題 248校 [71.9%]
高等学校 (148校)	インターネットによる人権侵害 134校 [90.5%]	子ども 113校 [76.4%]	障害者 113校 [76.4%]	高齢者 106校 [71.6%]	女性 外国人 104校 [70.3%]